人、モノ、産業のかけはし アジアの沖縄

沖縄ではアジアの中心に位置する地理的優位性を最大限に生かした、産業振興が進んでいる。那覇空港は、国内外を結ぶ国際物流のハブ拠点となり、アジア各都市に貨物を翌朝に届けられる体制ができた。加えて空の玄関口としても、増加する人・モノの受け皿が整備され、さらなる優位性向上に期待が集まっている。また電力や工業用地などインフラ面の充実を背景に、新たな産業が根付きつつある。

物流ハブ化で 優位性高まる

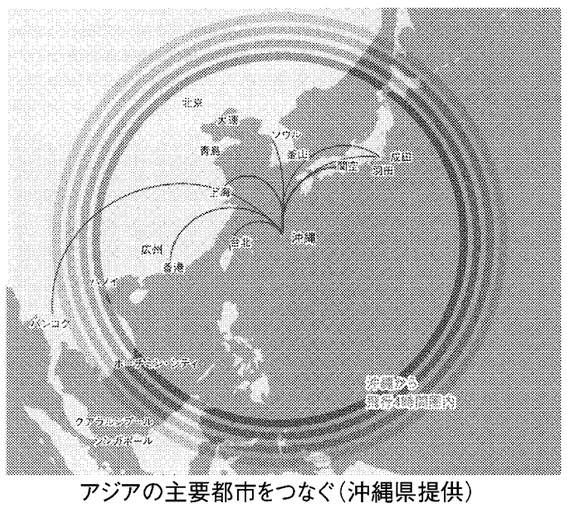
沖縄の産業分野での優位性が高まっている。アジアの中心とも言える地理的優位性を生かす、国際物流のハブ拠点化事業だ。広い海で隔てられた沖縄は、本土との距離という弱点をアジアとの近さという強みに変えた。約4時間の飛行圏内に成田・羽田・関西国際の各空港があり、海外では中国・韓国の主要都市のほか、ハノイやバンコクが入る。

24時間利用可能な那覇空港を使うことで、従来は翌日便に回っていた貨物の締め切りが当日深夜に延長される。実質的にプラス1日かかったリードタイムを短縮。羽田を24時に出た荷物が、翌朝にはバンコクに着く。この中核機能を果たすのが全日本空輸（ANA）による貨物ネットワーク。上海と台北、ソウル、香港そしてバンコクの5都市に就航。さらにこの8月に成田―中部―沖縄、沖縄―青島の各路線に輸送網を拡大する。

沖縄県は沖縄をアジアの物流センターとする構想を進めている。12年度は空港隣接地にロジスティクスセンターを建設。沖縄ヤマト運輸が入居、24時間通関可能な強みを生かして、法人客向け国際宅急便の翌日配送を実現している。13年度は面積2㌶規模のロジセンター新設に着手。荷主の物流業務を一貫して請け負うサード・パーティー・ロジスティクス（3PL）などを含めた立地を視野に入れる。

最終的な県の狙いは「通過点でなく結節点にすること」（沖縄県国際物流推進課）。全国の特産品を集めてパッケージ化し、日本ブランドとして輸出するなど、沖縄での付加価値化が理想だ。

そこで那覇港など港湾の活用も並行している。那覇空港と那覇港は「那覇うみそらトンネル」を使えば約10分間でアクセスできる。この海と空の近さを物流施設と組み合わせることで、在庫補充は船便で行い、急ぎの配送は航空便を利用するなど利点を最大化できる。パーソンセンターやロジスティクスセンターとしての利用など立地の選択肢が多様化した。



アジアの主要都市をつなぐ（沖縄県提供）

地場経済界もハブ拠点化へ期待を強めている。県内外の財界関係者でつくる「沖縄懇話会」は、14年に全国の農林水産業者と国内外の流通業者を結びつける大型商談会「大交易会」を開催する。これに先駆けて13年はプレ大会を予定。あわせて中小企業基盤整備機構（中小機構）沖縄事務所は、県内の地域金融機関4行と、県内の食品加工業者向け販路開拓セミナーを実施する。このようにハブ化に端を発し、観光資源を活用したアフターコンベンションとも組み合わせる〝商談会産業〟が生まれつつある。

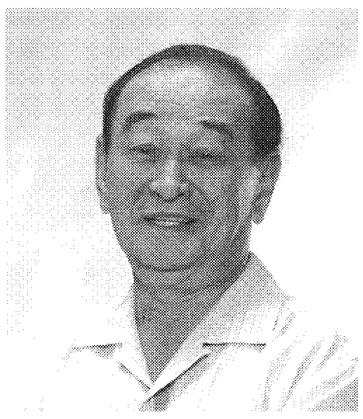
日本銀行那覇支店によると、現在の観光概況は個人・法人客の増加を背景に好況で、今後も拡大が期待できるという。空の玄関口である那覇空港は、羽田空港に次ぎ全国2番目の国内航空路線数を誇る。旅客数は全国6位で、近年はLCC（格安航空会社）の運航も始まり、旅客数は堅調に推移している。

旅客を迎えるターミナルを運営する那覇空港ビルディング（那覇市）は、国内線ターミナルを増設している。チェックインロビーや保安検査場などの機能を拡張。今年秋ごろに供用を始めて、混雑緩和を図る。また国際線ターミナルの新設工事も進行中。老朽化した現行施設に替えて、現在の約3・7倍となる延べ床面積2万3800平方㍍の施設になる。固定橋で直接搭乗できるなど利便性が向上する。加えて国際線・国内線各ターミナルをつなぐ「際内連絡施設」を設置する検討もされており、環境変化に対応したさらなる設備の充実が期待される。

一方で処理能力の9割強に達した滑走路の増設も14年1月に着工予定。完成は19年の見込みで、2700㍍の新滑走路が完成すれば、処理能力は現行比5万回増えて年間18万5000回になる。

空の玄関が進化 新ターミナル完成へ

アジアに 羽ばたく沖縄



沖縄県知事 仲井眞 弘多（なかいま ひろかず）氏

日本最南端に位置する沖縄だが、その目を世界に転じれば、飛行機で4時間圏内に中国・東南アジア諸国連合（ASEAN）諸国などの20億人以上の巨大市場が広がっている。

この地理的条件と24時間稼働の那覇空港の利便性に着目し、国内外8都市を結ぶ沖縄国際物流ハブが整備され、そのスピーディーかつ高品質の輸送機能を生かした臨空・臨港型ビジネスが着々と育ちつつある。

8月からは中部国際空港や中国の青島市を結ぶ航空貨物ネットワークが拡充され、日本全国の特産品や生鮮品を新鮮な状態でアジア市場に運ぶ国際物流拠点としての期待も国内外から高まっている。

豊かなリゾート資源にも恵まれた沖縄は、前年度の海外からの観光客が過去最高の38万人を超え、香港や台湾を中心にその知名度がアジアで急上昇していることも、国際ビジネス展開の場としては好条件だろう。

さらに、法人税課税所得の40%が控除できる「国際物流特区」をはじめ、物流コストや情報通信費の低減策、人材の確保や育成への支援制度など、立地企業の皆さまを全力でサポートする各種支援体制も整えている。

2013年度からは那覇空港の滑走路増設が着工され、19年末には完成する。今後もわが国の成長戦略の一翼を担う「万国津梁（世界への架け橋）」として、沖縄はその可能性の翼を着実に広げていくことをお約束する。

企業の皆さまにはぜひ沖縄にお越しいただき、日本再生の原動力として、ともに世界に羽ばたくことをご検討いただきたい。

基盤産業が成長 特区で進む企業立地

沖縄県金型技術研究センター

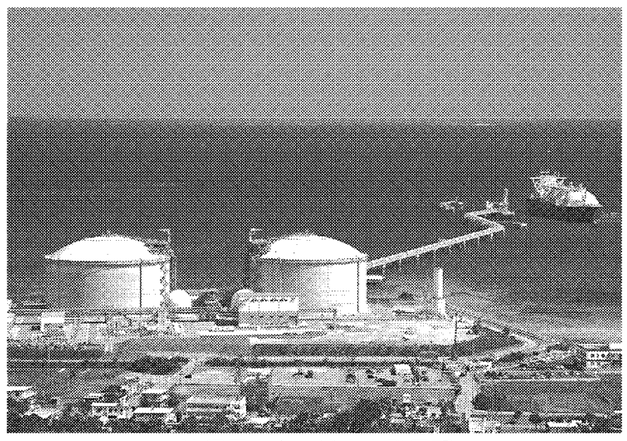
沖縄は基盤産業の地盤が固まりつつある。技術支援を県工業技術センター（うるま市）が担うほか、県金型技術研究センターが開設。同研究センターは加工設備のほか、賃貸工場を併設しており、金型製造の関連企業が入居している。

このような賃貸工場の利用は設備投資面でメリットが大きく、立地が進んでいる。たとえばアルモウルド（山口県宇部市）は、うるま地区の国際物流拠点産業集積地域に沖縄工場を開設する。経済特区の優遇制度を武器に業容拡大する。海外向け機械部品製造や金型メンテナンス、海外からの受託加工にも取り組む構えだ。

沖縄県はIT分野の集積を図っているほか、バイオ産業分野でも設備を充実させている。13年度は「沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター」に加えて、「沖縄バイオ産業振興センター」を整備する。インキュベーションに特化した施設と、事業拡大に対応できる施設をそれぞれ設けることで、産業の拡大を目指す目的だ。

沖縄は毎年3000人の工業系人材を輩出。また東京都とともに35年時点の05年比人口見通しで伸びを示す数少ない地域。少子化が進む日本にあって、増加する労働力は大きな魅力だ。人と産業とは切っても切れない関係にある。人とモノが集まれば、経済発展がともなうはずだ。地理的デメリットがメリットに転じたように、今後も変化していく沖縄から目が離せない。

安定の電力供給 沖電LNG火力が稼働


沖縄電力吉の浦火力発電所

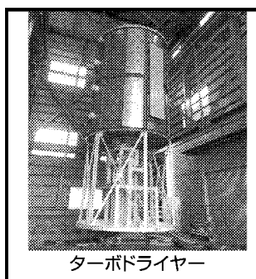
沖縄は企業立地でも優位性を持つ。沖縄県は那覇地区とうるま地区に2カ所の「国際物流拠点産業集積地域」を整備。立地企業は法人課税所得の40%を控除する制度をはじめ、関税や地方税にかかる優遇制度を受けられる。実効法人税率は設立後5年間は19・5%、同6―10年間で23・0%と低い。このほか固定資産投下に対する最大10億円の助成金、人材確保・育成に対する補助金、融資制度などの支援がある。

大規模地震が少ないことに加えて、産業に不可欠な電力が安定しているのも心強い。沖縄電力は13年度の需給バランスでは最大電力142万㌔㍗に対し、供給力226万㌔㍗で供給予備率は58・5%にのぼる。人口増加が見込まれる9年後の22年度は、最大電力156万㌔㍗にまで増大するが供給予備率40・9%を確保する。

この5月には液化天然ガス（LNG）による「吉の浦火力発電所」2号機を運転開始。12年11月に稼働した1号機との合計出力は約50万㌔㍗で、同社最大の発電所だ。LNGの燃焼ガスと、回収した排熱でつくった蒸気を使う複合発電方式「コンバインドサイクルシステム」を採用。同量の燃料から多くの発電ができる。石炭火力と比較した二酸化炭素（CO_2）排出量は、石油より少ない6割まで抑えられる。このほか世界遺産・中城城跡の景観に合わせるなど環境面でも同社の象徴的設備となった。

国際線ターミナル完成図

welcome
NAHA AIRPORT BUILDING
那覇空港ビルディング株式会社
代表取締役社長 花城 順孝


ターボドライヤー

産業プラントから精密部品加工・組立まで『約束を守る』ものづくり企業

■ 豊富な実績で高品質な製品をご提供しています
産業プラントは60年の実績があり、原材料の乾燥装置・ターボドライヤー、一圧・二圧の高圧タンクや熱交換器などの当社の製品に対し高い評価を頂いています。プラントの据付、修理や改造にも経験豊富な人材を有しニーズにお応えしています。
又、五面加工機、横中ぐり盤から高速加工機まで各種工作機械を導入し、半導体・鉄道車両用部品や大型セラミックなどの加工・組立まで一貫して取り組んでおります。
この機会に『約束を守る』アルモウルドをご活用下さい。

■ 各種金型の補修・メンテナンス引受けます。ご一報下さい。

プラント事業
▩各種化学機器（一圧・二圧・高圧ガス反応・撹拌機・熱交換機 他）
▩乾燥機（ターボドライヤー・真空乾燥機 他）
▩各プラント据付・改造・修理 他

機械事業
▩大型五面加工機　▩セラミックス研削加工　▩医療検査機器の開発製造
▩省力機械設計・製作　▩鏡面研磨砥石　▩プラスチック成型金型の設計・製作
▩機械部品加工　▩三次元加工（モックアップ、航空機部品他）

株式会社 アルモウルド
本社／〒759-0207 山口県宇部市際波1770-1
TEL（0836）41-1181　FAX（0836）83-2486
http://www.almould.co.jp
宇部・医療機器研究所

国際化支援事業
海外への販路開拓を支援します。

「もしも」の時に、連鎖倒産から守る国の共済制度
経営セーフティ共済
無担保・無保証人！最高8,000万まで貸付可能！

国がつくった小規模企業経営者のための退職金制度
小規模企業共済
農林水産業の方も加入できます！

中小企業の方が、気軽に経営相談を受ける事ができる電話相談を開設しています。 がんばる中小企業経営ホットライン TEL/0570-009111 《受付時間／月～金 9:00～17:00》

中小企業向けお役立ち・最新情報　中小企業ビジネス支援サイト J-Net21 http://j-net21.smrj.go.jp

中小企業と地域振興を
もっとサポート
中小機構 沖縄

独立行政法人中小企業基盤整備機構　沖縄事務所
〒901-0152　那覇市小禄1831-1 沖縄産業支援センター 313-1
TEL/098-859-7566　FAX/098-859-5770
http://www.smrj.go.jp/okinawa/index.html

今日も確実に、
安全に。

スイッチをつけると
照明が部屋を明るく照らす。
ボタンひとつでテレビがついて、
電子レンジは夕食を温めてくれる。
会社のパソコンが、工場の機械が、
人々の仕事を助け
暗くなると街灯はいつの間にか
夜道をやさしく照らしている。
意識することなく
毎日の暮らしの中にある電気。
その電気を確実に
あなたのもとへ届けること、
それが私たちの仕事です。
毎日の暮らしの中で意識されないこと。
あたり前と感じてもらえること。
今日もスイッチをつければ
何事もなく明かりがつくこと。
それが私たちの誇り。
必要な人、待っている人、その暮らしの中へ

地域とともに、地域のために
沖縄電力